

第30回広大マスタース例会報告

第13回 広大マスタース主催ウォーキング大会

ー広大キャンパス内桜鑑賞コースー

広島大学マスタース会員 渡部 和彦

今年2回目のウォーキング大会（令和6年4月7日（日））は、広大東広島キャンパス内「桜の花鑑賞コース」の開催でした。前回（3月3日）の、「梅の花と香りを楽しむコース（憩いの森公園：竜王山）」に続いての大会です。予定の午前9時、教育学部前の広場に参加者全員集合。受付で、今回の参加者12名を確認。HMから3名、市民（健康づくりウォーキング友の会）は9名の参加でした。

天候に恵まれ、絶好の花見日和となりました。参加者全員の自己紹介の後、広々とした環境で、中・高齢者に優しい「ダイナミック・ストレッチ体操」を中心に準備体操を入念に行いました。

事前の下見で得た、見どころ等のコース説明の後、満開の桜を鑑賞しながら、予定のウォーキングコース、約5キロを各自のペースで、談笑しながら歩く贅沢なひと時を共有しました。

今回の桜の花見コースは、以前、池田秀雄幹事（現・HM副代表幹事）が、広大マスタース講演会「日本の国際協力の現状と課題」後にオプションとして70品種を越える東広島キャンパス内の桜を丁寧に案内されたものです（2018年6月10日）。その時の参加者が数名おられ、池田先生から頂いた冊子を手に、桜の名前を熱心に確認していました。



さて、見どころの一つである陸上競技場付近では、国際色豊かな多くの家族連れが、満開の桜の木元で、和やかな一時を楽しむ光景が印象的でした。

惜しむらくは、池田先生に案内いただいた、国際協力研究科（IDEC）付近の「枝垂れ桜・等」には、今や枯れた状態の木が目立ち、残念。コース終盤は、理学部植物園を通り、「大学法人本部」に通じる路でした。60mほどの距離の両側に、見事な桜並木があることを知りました。「広大東広島キャンパス」の名所の一つになればと願った次第です。

